



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 不 二 精 機 株 式 会 社

代表者名 代 表 取 締 役 社 長 伊 井 剛

(コード：6400、東証スタンダード)

問合せ先 取 締 役 管 理 本 部 長 小 田 将 義

(TEL. 06 - 7166 - 6822)

中間連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026 年 2 月 13 日付で公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,303	百万円 241	百万円 216	百万円 142	円銭 17.63
今 回 実 績（B）	4,413	358	307	201	24.85
増 減 額（B－A）	110	117	91	59	
増 減 率（％）	2.6	48.5	42.1	41.5	
（ご参考）前 期 実 績 （2025 年 12 月期（中間期））	4,418	273	297	174	21.49

＜差異の理由＞

売上高については、精密金型事業セグメントにおいて、特に中国の子会社で検収手続きに遅れが生じたことなどにより前回予想を下回りましたが、精密成形品セグメントにおいて、特にインドネシア、タイの子会社で前回予想を上回ったことから、売上高は前回予想を上回りました。

営業利益については、精密金型事業セグメントにおいて利益率の低下がみられましたが、精密成形品セグメントにおいて増収により利益率が向上した影響で、販売費及び一般管理費は増加したものの、前回予想を上回りました。

経常利益については、営業外費用で為替差損 30 百万円が生じましたが、営業利益が前回予想を上回ったことにより、前回予想を上回りました。

親会社株主に帰属する中間純利益については、経常利益が前回予想を上回ったことにより、前回予想を上回る 201 百万円となりました。

以 上